

平成28年度施策評価シート(平成27年度実施事業)

作成主管課	生涯学習課
	笠間公民館
関係課	友部公民館
	岩間公民館

施策名	芸術・文化	施策コード	5-3-2
-----	-------	-------	-------

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策	人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり
	小政策	個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます
現況と課題	<p>社会経済の変化による地域コミュニティや経済面の衰退などから、芸術・文化を支える基盤の脆弱化が懸念されます。芸術・文化は、生活の質の向上を図るうえでも欠かせないものであり、今後の成長の源泉でもあります。また、文化交流都市を将来像とする本市は、笠間焼など、国内だけではなく、世界に発信できる、誇れる歴史と風土が育んだ芸術・文化の環境をもっています。</p> <p>本市では、平成20年に第23回国民文化祭を実施した後、専門組織である文化振興室を設置し、クールシェヴェール(現:かさま)国際音楽アカデミー事業や全国子ども陶芸展などの芸術・文化事業を推進するとともに、多数の芸術・文化に関する市民活動団体の支援を行ってきました。また、田園や里山風景、それがもたらす農の爽り、歴史と由緒ある神社や仏閣、窯業や石材業などの産業文化については、観光などの経済面と芸術面の双方の観点から連携を図る取り組みも進めてきました。</p> <p>今後は、本市の魅力の核となる芸術・文化資源の発信力を強化するとともに、市民が身近に感じ、ふれる環境の構築と、他分野との連携促進による新たな笠間文化の創造を図っていく必要があります。</p>	
施策目標	市民の芸術・文化活動の支援と幅広い年齢が気軽に参加できる環境を構築するとともに、他分野連携による芸術・文化資源を活用した新たな価値の創造と笠間文化の発信に努めます。	

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	・かさま国際音楽アカデミー事業についての費用対効果が求められている。
-------------	------------------------------------

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
芸術・文化に親しんでいると感じている市民の割合	市民実感度	33.570	39.610	35.340	33.780	33.740	0.000
	加重平均値	2.194	2.382	2.243	2.244	2.218	0.000
※※※※※※	市民実感度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	加重平均値	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度	74.820	72.890	72.870	73.980	0.000	
	加重平均値	3.086	2.990	3.020	3.068	0.000	

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
芸術・文化関連事業の開催回数(青少年劇場小公演)	目標値	回		8	8	8	8	8
	実績値	回	8	8	8	11	12	0
	達成度	%		100	100	137.5	150	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
芸術・文化関連事業への参加者数(全国子ども陶芸展作品応募数)	目標値	点		1270	1300	1320	1350	1380
	実績値	点	1248	1379	1359	1428	1319	0
	達成度	%		108.58	104.53	108.18	97.7	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0
※※※※※※	目標値	0		0	0	0	0	0
	実績値	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	%		0	0	0	0	0
	ベンチマーク		0	0	0	0	0	0

数値指標の考え方	指標設定の考え方	・文化にふれる機会と文化資源の発信力の目安となるため子ども陶芸展の参加者を指標とした。
	目標値設定の考え方	・陶芸展の作品応募数については、参加者の陶芸を行える環境に大きく影響を受けるため微増する目標とした。

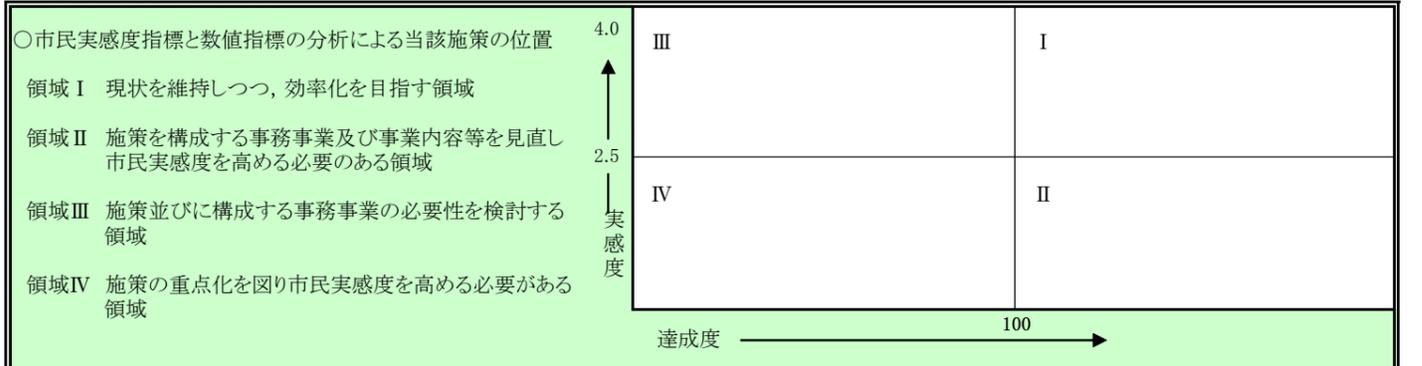
2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 ・文化芸術への理解を深め、享受するとともに、自ら創造するなど積極的な活動を行うこと。・かさまの文化に誇りをもち、これを積極的に発信すること。・文化芸術活動をする個人団体が活発な交流を図るとともに地域の活性化を進める。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 ・市民のニーズに応じた芸術文化を支える環境の整備。・文化協会等の文化芸術団体との連携強化。・笠間市が有する資源の発見と積極的な活用。・独自の地域文化を活かした地域の活性化。・芸術文化に関する情報の市民団体への提供。・芸術文化活動への助成や支援。・芸術文化活動、発表する場である施設の整備。

3 平成27年度取組状況

取組状況等	<p>取り組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かさま国際音楽アカデミー、高齢者芸術鑑賞事業等の実施により、市民が良質の芸術文化に接する機会が増えた。 ・全国子ども陶芸展開催により、自由な想像力を発揮する場を提供するとともに「陶芸のまちかさま」を全国に発信することができた。 ・市内小・中学校5校にアーティストを派遣し、本物の芸術に触れる機会を提供した。
-------	--

4 施策の評価(現状分析)



達成度評価	<p>指標を分析した結果施策目標は達成されたのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年劇場小公演を、小学校に加えて中学校でも実施することにより達成度が高まった。 ・子ども陶芸展の応募数は、前年度を下回り、目標指標を達成できなかった。
-------	---

構成事務事業の適正性	<p>施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策目標を達成するための事業構成は妥当であり、豊かな文化を創造発信するまちづくりを進めていくため、今後も個性と想像性豊かな「かさまの文化」を広げていく。
------------	--

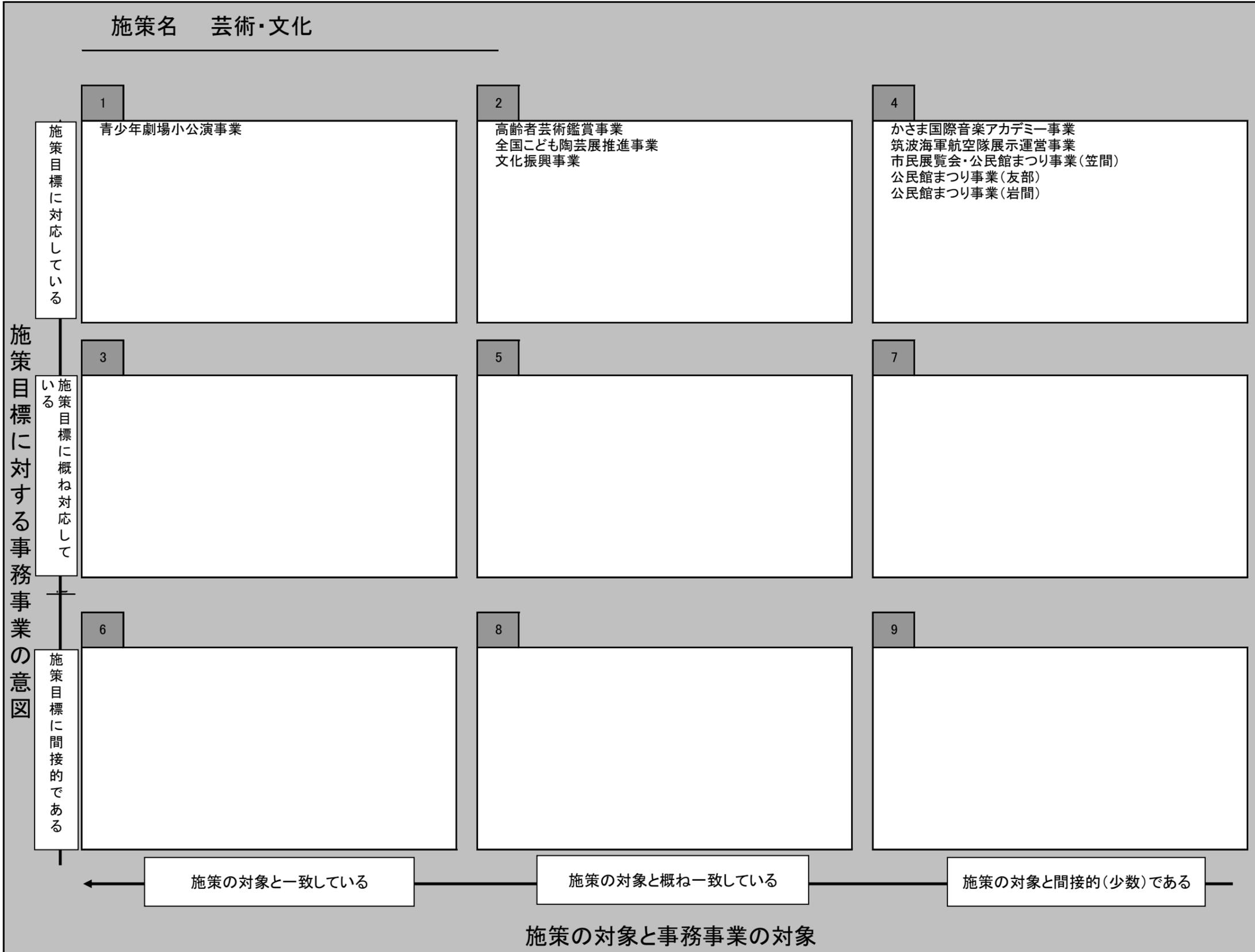
残された課題	<p>平成28年度以降に残る課題、その要因として考えられること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国子ども陶芸展については回を重ねているため、マンネリ化を防ぐ企画を検討する。 ・各種文化団体は、高齢化が進み、団体数も減少傾向である。 ・多くの市民が芸術文化に親しむことのできる施策を進める必要がある。 ・筑波海軍航空隊記念館の存続と今後の運営についての課題を整理する。 ・かさま国際音楽アカデミーについて、今後の方向性を決定する。
--------	---

5 今後の方向性

取組方針	<p>平成29年度に向けた施策方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国子ども陶芸展では、前回とは違った企画を盛り込むなどの創意工夫をする。 ・市内にある美術館などの地域資源の利活用を図り、多くの市民が芸術文化に触れる機会を提供する。 ・筑波海軍航空隊記念館の存続と今後の運営についての課題を県と協議し、方針を決定する。 ・かさま国際音楽アカデミーについて、県との連携を検討するとともに、今後の方向性を決定する。
------	--

シート1 施策内事務事業目的直結度評価

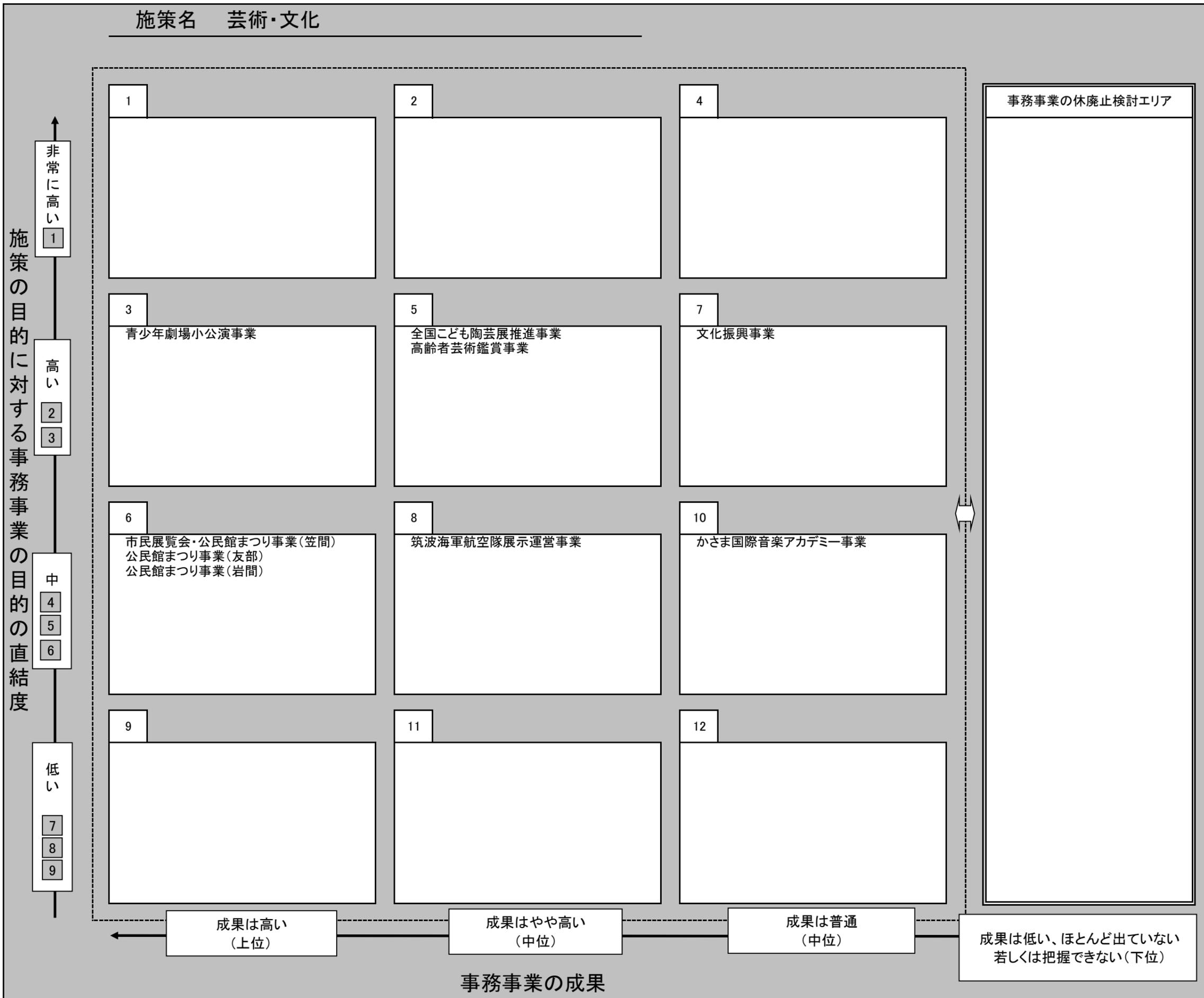
施策名 芸術・文化



義務的事業, 内部事務事業

シート2 施策内事務事業貢献度評価

施策名 芸術・文化



事務事業の休廃止検討エリア

義務的事業, 内部事務事業

事務事業の成果基準の説明